

**かほく市立外日角小学校**

学級数：19学級 生徒数：495人

【テーマ】

～がんについて正しく知ろう～

○設定理由

がん研究の最前線を行く医師の方による授業を展開することにより、「がん」に対する児童の理解がさらに深まるのではないかと考えた。また、本実践が児童の「生活習慣の見直し」としても有効なものになるのではないかと考えた。そして、本校のがん教育の進め方を見出すことにつながる実践になることを願い、本実践を計画した。

**1 はじめに**

本学級の児童は、がんについての知識がほとんどない。また、自身の生活習慣の乱れを理解していないことや自分の健康状態への関心が低いことが課題として挙げられる。

児童にとって「がん」は、学校や家庭において普段からあまり触れないテーマであると考えられる。また、保健の学習では、5・6年生で「病気の予防」を扱う単元があるが、4年生で扱われていない。

そこで、学級活動「(2)ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成」において本時のねらいを「がんについて知り、がんを予防するために自分のできることを考えることができる。」と設定し実践した。



**2 実践**

(1) 医師とのT・Tによる授業

外部講師の医師の方とのT・Tによる授業を進めた。4年生の児童にとって全く知らない事柄や言葉が出てきても丁寧に教えていただくことで、安心して学習を進めることができた。



(2) 自己指導能力を育成するためのICT活用

がん予防のために、自分でできることを考え、タブレット型端末（ミライシード）を活用してクラスのみんなど交流した。生活習慣の改善に向けて協力しあって取り組むことができた。



### (3) 生徒の感想

#### 児童Aの感想

家に帰ってお父さんにがんの事を話すと、お父さんは、「もうタバコは吸わない。」と言ってタバコを全部捨てました。

#### 児童Bの感想

がんの話がとても分かりやすかったです。お父さんに言うと、「以後、タバコと酒に気をつけます。」と言っていました。これで、あまり酒やたばこをしないだろうと安心しました。安心できたのも博士に来ていただいたおかげです。

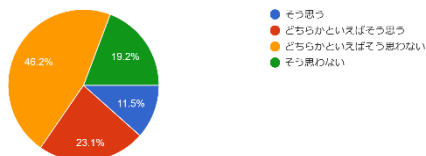
#### 児童Cの感想

博士の話聞いて、がんには、いろいろな治療法があると分かったので、がんがこわくなくなりました。しっかりと正しい生活習慣で生活していけば、がんになりにくいということを知って安心しました。

## 3 生徒アンケートの結果

### 【実施前】

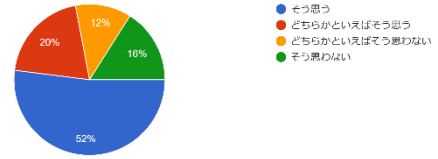
3 Fがんにしても生活の質を高めることができる。  
26件の回答



### 【実施後】

2 F体の調子が良い場合は、定期的に検診(けんしん)を受けなくても良い。  
26件の回答

3 Fがんにしても生活の質を高めることができる。  
25件の回答



実施前は、がんの一次予防に関する知識がほとんどなかった。実施後は、しっかりと知識を身に付け、児童ががんを身近な問題としてとらえ、将来どのように生活していけば健康に過ごすことができるのかを考えることができた。

## 4 実践の成果と課題

### 〇〇成果〇〇

がん教育を通して、教科書だけでは学ぶことのできない、専門的な内容を教えていただき、充実した時間を過ごすことができた。また、全員参加型の質問形式で授業を進めることで、児童は楽しく参加することができた。クラス単位で授業を実施したことで、より集中して話を聞くことができ、児童の理解度、満足度はとても高かった。

### ◆◆課題◆◆

4年生の児童でも理解できるような授業にするために使いやすいスライドの教材を外部講師に作成していただいた。既存の教材はまだ少なく、今後開発していく必要があると考える。

自身の生活習慣の乱れを理解していないことや自分の健康状態への関心が低いことが課題として挙げられていたが、この学習を通して、「がん教育」を自分事として考えることができた。これからも粘り強く自己の生活習慣の課題解決に向け取り組めるようにし、児童一人一人に自己指導能力を育成したい。